

博物館学芸員について

1. 博物館学芸員とは

博物館で、以下に掲げる職務に従事する専門的職員（学芸員・学芸員補）として働くための国家資格です。

- ① 博物館資料の収集、保管、展示。
- ② 博物館資料の利用に関する説明、助言、指導。
- ③ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究及び保管、展示等に関する技術的な研究。
- ④ 博物館資料に関する案内書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の作成。
- ⑤ その他企画、立案に関する業務。

それ以外に、専門業務に付随する事務の仕事（資料台帳の作成、協議会・研究会の記録など）も並行して行う必要があります。

2. 博物館学芸員になるには

学芸員の資格を取得するためには、以下の方法があります。

- ① 本学で開講されている博物館学芸員課程で、所定の科目を履修して取得する方法
（さらに3年次には、2日間の博物館見学実習および1週間の博物館実習がある）
- ② 文部科学省が年1回実施している学芸員認定試験に合格する方法

3. 本学課程のスケジュール

2年次：博物館学芸員課程説明会（登録の手続き）

2年次終了時までには、学芸員課程の単位を除き、66単位以上修得が望ましい。

3年次：博物館見学実習（2日）

博物館実習（1週間）

3月の学位授与式の日には、資格取得要件を満たした者に対して「学芸員資格証明書」を発行する。

4. 博物館とは

博物館法第2条では博物館を次のように定めています。

「博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関である。

博物館には、総合博物館、歴史博物館、美術館、科学博物館、動物園、水族館、植物園などがあります。博物館の機能として以下の4つがあります。

① 資料の収集

博物館を評価する基準のひとつとして、博物館がその専門領域において、どれだけ優れたコレクションを所有しているか、ということがあります。しかもコレクションの数だけでなく、資料間の相互関係が大切であり、そこに「構造」を持ち、体系的であることが重要になります。また、博物館の所有する「資料」とは、「もの+情報」を指します。

② 資料の保管

博物館における資料の保存管理は、調査・研究、教育活動など、その資料を「利用する」ことを前提としています。資料の利用が活発になると、資料の傷みも早くなります。

博物館では、調査・研究、教育普及活動をおこないつつ、資料をできるだけよい状態に保つ方法を常に考えていかなければなりません。資料の保管は、化学、物理など理科系の知識と、それを土台とした具体的な技術が要求されます。

③ 資料に関する調査・研究

博物館における調査・研究活動とは、博物館が収集・保管している専門分野についての調査・研究、資料の収集・保管に関する技術的研究、そして資料を博物館の利用者と結びつけるために博物館独自の方法を研究することに分けられます。

④ 教育普及活動

講座、講演会、野外学習、動物園のサマースクールなど、博物館の特色を生かした教育活動をおこないます。博物館は図書館とならび社会教育（強制されない学習）の拠点であり、教育普及活動は重要な活動です。

このように、博物館は珍しいものを集めて陳列し、それを人に見せる「施設」のことではなく、ものを収集、保管し、調査研究を行い、その成果を公開して人々に利用してもらう社会教育のための“機関”なのです。

5. 学芸員として働くには

これまでに述べてきたことから分かるように、学芸員として採用されるには、資格は当然のことながら、本人の専門性が重要になります。自分の専門領域でそれなりのことがやれないと学芸員にはなれないといえます。近年では、採用条件として大学院修了以上の学歴を必要とすることが多く、選考の参考にこれまでの研究実績を提出することもあります。しかし、学芸員の採用は欠員補充型が多く、定期的に募集があるとは限らず、あっても募集人数が少ないのが現状です。このため就職はかなり狭き門となっています。採用方法は、国公立、私立とも博物館によってまちまちなので、志望者は情報収集が大切です。大規模な博物館では、専門職として採用されるケースが多く、それ以外の公立博物館では一般行政職として通常の公務員試験により採用され、博物館に配属されることとなります。必ずしも希望どおり博物館に配属される保障はなく、また、数年後には転属ということも覚悟する必要があります。以上を踏まえた上で、大学院に進学し、自己の専門性を深めるなど、長期的な計画が必要になります。また、求人情報の収集については、ホームページ等をまめにチェックするなど幅広く情報を集めることが必要になります。学芸員関係の求人情報は以下のホームページなどで検索できます。ただし、間違った情報が流れることがあるので、必ず情報の確認をしましょう。

・ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>)

・学芸員就職課 (<http://yondaro.fc2web.com>)

地方公務員採用試験案内 (<https://www.j-lis.go.jp/spd/exam-guide/shiken-annnai.html>)

以 上